

今年は今のところ台風直撃頻度が低く助かっている。悪い事ばかりではない。世の中のデジタル化の波の中、当院（医療・介護）でも準備進行中。デイサービスでのバイタルサインチェックや、リハビリ効果把握のためのタブレット導入に始まり、訪問看護介護の現場でのタブレット入力と介護ソフトの連動。

私も今月からタブレットと 아이폰 口頭入力によるペーパーレス（脱紙カルテ）を目指す。ただし、紙カルテは決してアナログではない。ページを数枚はねるだけで過去の記事、検査データ、処方箋を瞬時に閲覧できる。

実は1分野が表示されるのみのタブレットの方がアナログだ。が、情報の共有化と伝達スピードにおいて圧倒的に勝る。

いつものように、それぞれの利点と欠点を見極めうまく併用していく予定。

問題はそれに適応すべき人間サイド。なんとかキーボード入力に慣れたが、次はタブレット入りに習熟せねばならぬ。さらに、日々使う中で、より優れた使用方法を新しく作り出す必要がある。柔道における「精力善用」を常に心がけ無駄を省く事が大切。でなければ、たかが機械に振り回されて気分が悪い。たった一つの入力ミスで次に進めず何時間も無駄にして、夜中に大声でパソコンに悪態をついた事があるのは私だけではあるまい。以後わからないことはパソコンのベテランさんにさっさとおまかせする事にした。（私の周囲の方々本当にありがとうございます）

機械を使う事で生活・仕事が以前より便利になって初めて価値がある。

それは扱う人間の工夫にかかっている。

Let's challenge だ。

来年の今頃の職場の変容を考えると、ワクワクする。



ハーブ内科皮フ科 理事長 竹内 秀俊

ハーブ内科 検索



スタッフブログを毎週更新中！

【運動療法デイサービス】

運動の秋という言葉がぴったりなほどの秋晴れの日が多くなりましたね。

運動療法デイサービスでは三ヶ月に一回、体力測定を行っております。握力・片足立ち・3m歩行を測定します。3m歩行とは、椅子に座った状態から立ち上がり、3m先のコーンを回って戻ってきて座るまでのタイムを計ります。

前回の自分の測定結果と比べ「前回より握力強くなってるよ」「片足立ち長くできたよ」など、利用者様同士の会話も弾みます。

これからも運動療法デイサービスらしくレクリエーションや機能訓練をして健康寿命が少しでも長くなるように過ごして頂きたいと思っております。



【ゆいまある】



日に日に秋が深まり暮秋の季節となりましたがいかがお過ごしでしょうか？ゆいまあるでは新型コロナウイルス感染予防のため、現在、ご家族様との面会を中止させて頂いているためリモート（ZOOM）にて面会を開始しています。

入居者様は画面に映っているご家族様を見ると「なんでテレビに映っているの？」「わー便利になったね！」など不思議そうですが、ご家族様、入居者様とも笑顔になられお話をされています。まだコロナ禍が続きますが、楽しく安全に生活できるように過ごしていきたいと思っています。

ハーブデイサービス・グループホームでは、認知症予防・維持改善のため、くもんの学習療法を取り入れています。

【くもん学習療法】

曜日によって学習されるメンバーも、ペアになる相手も変わり、今までにない相手の時は自己紹介から始まる時もあります。ペア学習の良い所は、相手を意識され、いつもより学習の時間が速くなったり、あまり話さない方が「そんなことあったね」と話されたりと、楽しい会話をされる事で良い笑顔が見られます。脳がとても活性化されます。

初めは緊張されても、何度かペアになり、段々と会話が盛り上がり最後は笑顔😊そんな終わり方がいいですね！

